



米軍再編

新基地は負担軽減どころか恒久化

日本共産党・赤嶺議員が衆院予算委で追及

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員は2月8日の衆院予算委員会で、在日米軍再編で日米両政府が狙う、米海兵隊キャンプ・シュワブ(沖縄県)沿岸部への新基地建設問題について追及しました。以下質問要旨です。

普天間基地に代わる新基地建設計画の比較

	1996年の日米合意(SACO)	2005年の日米合意
基地の長さ	1500m	1800m
建設場所	海上	沿岸域
基地の性格	撤去可能	恒久的施設

SACOに賛成した人も含め島ぐるみで反対(赤嶺)

●赤嶺政賢衆院議員
普天間の機能を本土に持つていくことや、ヘリポートもシュワブにつくることで負担軽減だ。

●赤嶺政賢衆院議員
稲嶺知事も将来は必ず撤去ということだ。「15年使用期限」と言った。今回は恒久化だ。SACOに賛成した人も今は反対に回っている。

米軍再編での「圧力メール」長官認める

赤嶺質問に防衛庁長官は、防衛施設庁が全国の各防衛施設局の担当者あてに「地方議会が在日米軍再編反対の議決をしないよう関係者の理解を求め、動きをして欲しい」とした電子メールを送信していた事実を認めました。

海兵隊駐留の恒久化——小泉内閣が初めて(赤嶺) 抑止力の維持を図り、負担を軽減していく(首相)

●赤嶺政賢衆院議員

今回の移設案は、世界的な米軍再編、太平洋におけるアメリカ海兵隊の再編の一環に位置づけられたもの。

●額賀福志郎防衛庁長官

米軍へ海兵隊削減を強く要望し、7千人削減すると言っている。

●赤嶺政賢衆院議員

7千人はほとんど司令部の要員。実戦部隊はそのま

ま残り、(米兵の)人殺しも暴行も放火もとまらない。

今回の米軍再編の共同文書は、海兵隊の能力の維持、本間に機動的な展開を求め、るために沖繩に置かれなければいけないと言っている。

海兵隊駐留の恒久化だ。こんなことを言い出したのは、小泉内閣が初めてだ。

普天間の緊急使用の機能とか、嘉手納のF15を築城や新田原や百里や千歳に移すとか、その自治体に回って、どのぐらい移すという説明をなさったんですか。

●額賀福志郎防衛庁長官

嘉手納の訓練の移転については、まだ詳細については決まっております。

本土に基地を引き受けてくれというのが総理の立場か(赤嶺)

●赤嶺政賢衆院議員

説明できないものを、理解だけ最初に求めようとしている。本土の自治体に基地を引き受けてくれというのが総理の立場ですか。

●小泉純一郎内閣総理大臣

なかなか賛成してもらえない状況にない。協力を得られるよう全力をあげる。

●赤嶺政賢衆院議員

沖縄の負担の軽減のためにF15を嘉手納から移すというが、嘉手納基地は自衛隊の航空機が来て共同訓練を始める。共同訓練は負担の軽減にならないと嘉手納町議会は決議を上げている。

●小泉純一郎内閣総理大臣

抑止力の維持を図り負担を軽減、各方面の理解と協力を得るよう努力したい。